

令和6年9月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
9月5日	9月13日	<p>広報誌の発行頻度について 月に2回発行されていますが、組長となったときの配布に負担を感じています。 月に1回の発行でも支障はないと思われるので、変更してほしいです。</p>	<p>貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 沼津市は現在、1月1日号を除き月2回、年間23回の広報めまづを発行しています。 広報紙をはじめ、市からの配布物につきましては、自治会役員の皆様の多大なるご協力をいただき、市内各戸にお届けできているものであり、重ねて御礼を申し上げます。</p> <p>昨年度実施した「市民意識調査」において、広報めまづの発行回数についてお尋ねしたところ、「月1回でよい」とする割合が44.1%と一番多い回答でありました。しかし、「現在の月2回が妥当」とする声も40.4%と同程度あり、10代と60代以上で現状の発行回数の維持を希望する割合が高いという結果となりました。</p> <p>また、市政情報の入手方法についてお尋ねしたところ、「広報めまづ」が65.3%と最も多く、どの世代においても広報めまづが市政情報を得る重要な媒体となっています。</p> <p>現状の月2回から広報紙の発行回数を削減することによって、印刷代、配送費等の発行経費が削減されること、そして、役員の皆様の負担が軽減されることがメリットとして考えられます。一方で、広報紙は高齢者の方や電子情報の取扱いに不慣れな方にとっても必要不可欠な広報ツールであり、市民の皆様最新の情報を届けるという市民サービスの観点から、月1回ではタイムリーな情報をお届けできず、現時点では月2回の発行が適切であると考えておりますので、ご理解いただければと存じます。</p> <p>なお、広報紙は市ホームページで掲載しているほか、アプリや電子書籍ポータルサイトを利用してスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけるよう対応し、多様な手法にて多くの皆様に情報が届くよう努めているところでございます。</p> <p>今後におきましては、社会情勢やライフスタイルの変化、市民の皆様のご意見などを踏まえ、時代に即して有益かつ効果的な広報紙発行について検討してまいりたいと考えております。</p>	広報課

令和6年8月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
8月26日	9月6日	<p>My city reportについて My city reportに沼津市を登録していただきたく。 まちで見つけた「こまった」を、市民と自治体で簡単に共有することができます。ぜひとも早急にご検討ください。</p>	<p>ご意見をいただき、ありがとうございます。 本市では、現在、市民の皆様からの市政に対する提言・意見や、対応を要する箇所に係る情報提供等については、今回ご利用いただきました沼津市ホームページ上のフォームや、市内の公共施設20箇所に設置している提言箱から投稿できる「市民の声」を利用していただくとともに、緊急の場合には、お電話等にてそれらの情報をお受けしております。</p> <p>今回ご提案いただいたMy city reportのような、画像や位置情報等を簡単に共有できるシステムの必要性は、本市としても認識しておりますので、道路の損傷や公園遊具の不具合等、市民の皆様がお気づきになったことを簡単に市に寄せいただく市民参加型のシステムの導入について、検討してまいります。</p>	生活安心課

令和6年4月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
4月8日	4月16日	<p>広報ぬまづのデジタル化について 広報ぬまづ4月号を拝読しました。 この中の予算の広報事業6750万円について提案があります。 沼津市はデジタル化に取り組んでいる事は良く知っていますが、この広報ぬまづこそデジタル化したら良いと考えています。 デジタル化する事で、多くのメリットがあります。 私自身広報ぬまづを受け取っても10分程度読んで、すぐにゴミ箱行きです。 是非検討して下さい。 宜しくお願いします。</p>	<p>広報ぬまづをご覧いただき、また貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 沼津市は現在、1月1日号を除き月2回、年間23回の広報ぬまづを発行しています。 広報ぬまづ令和6年4月1日号の特集・施政方針の中でご紹介した「広報事業6,750万円」は、広報ぬまづの発行に要する経費のほか、市民カレンダー、地域ラジオ、ケーブルテレビを活用した市政情報の発信に要する経費などを含んでおり、多様な情報発信媒体を活用した広報に取り組んでいるところです。</p> <p>広報ぬまづのデジタル化につきましては、印刷代、配送費等の経費削減や、自治会役員の皆様の負担軽減がメリットとして考えられます。一方で、広報紙は高齢者の方や電子情報の取扱いに不慣れな方にとって必要不可欠な広報ツールであります。あわせて、月に2回広報ぬまづがお手元に届くことによる、市政に対する関心を喚起する効果も期待しているところです。 令和5年度に実施した「市民意識調査」において、市政情報の入手方法についてお尋ねしたところ、「広報ぬまづ」が65.3%と最も多く、どの世代においても広報ぬまづが市政情報を得る重要な媒体となっております。市民の皆様へ最新の情報を届けるという市民サービスの観点から、現時点では紙媒体での提供が適切であると考えておりますので、ご理解いただければと存じます。</p> <p>現在でも、広報ぬまづの電子データを市ホームページやスマートフォンアプリを利用してご覧いただけるほか、SNSによるタイムリーな情報発信など多様な手法にて多くの皆様に情報が届くよう努めているところです。 今後におきましては、社会情勢やライフスタイルの変化、市民の皆様のご意見などを踏まえ、時代に即して有益かつ効果的な広報手法について検討してまいりたいと考えております。</p>	広報課
4月8日	4月16日	<p>広報の届け方について 基本的に広報は自治会を通して各家庭に配布しています。その中には、これっぽっちも負担したくないから自治会には入っていないが税金を払ってるから広報は届けろと対象自治会の役員に届けさせてる人たちがいます。利益を得るには相応の負担するのが当然ですし、少子高齢化が更に進むことが決定的なので自治会の仕事は減らす方向に進まないといけないと思います。そこで、広報は、自治会会員は自治会を通して自治会の負担で配布し、それ以外の家庭は地区センターに取りに行くことにしたらいかがでしょうか。</p>	<p>貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。 沼津市は現在、1月1日号を除き月2回、年間23回の広報ぬまづを発行しています。 広報紙を始め、市からの配付物については、自治会役員の皆様の多大なるご協力により、市内各戸にお届けできていることに対して、重ねて御礼を申し上げます。</p> <p>広報ぬまづは、各自治会を通じて、その地域にお住まいの皆様にお届けいただいております。配付先や配付方法などは、自治会ごとに様々であり、具体的な内容につきましては、各自治会長または自治会役員にご相談の上、お決めいただくこととなります。</p> <p>なお、市では、引っ越されてきたばかりの方や自治会に加入されていない皆様等にも手に取っていただけるよう、広報ぬまづを図書館、市民窓口事務所や地区センターなどの市施設に配架しているほか、市内のセブンイレブン、マックスバリュ各店舗でもお配りしています。また、広報紙は市ホームページに掲載しているほか、アプリや電子書籍ポータルサイトを利用してスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけるよう対応し、多様な手法にて多くの皆様に情報が届くよう努めているところです。</p> <p>今後においても、社会情勢やライフスタイルの変化、皆様のご意見などを踏まえつつ、効果的・効率的な方法について検討していきたいと考えております。</p>	広報課

令和6年2月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
2月13日	2月16日	<p>広報ぬまづについて 2023年度、自治会で組長をやらせていただきました。組長の仕事の中で、月に2回の広報沼津の配布というものがあ るのですが、これをやってきた中で感じたこととして、 月に2回も広報を発行する必要があるのか、と感じました。 月に2回発行のコスト、取材から始まって、印刷、発送、そ れを配る人の負担(特に高齢者が組長をやっている場合、 坂が多い自治会なので足腰が疲れると言っています。)を 考えるとせめて月に1回でいいのではないのでしょうか？ タイムリーな情報はネットに掲載するようしたら良いかと 考えます。 ネットをうまく使えない高齢者はどうすれば！？という声 が出ると思いますが、それに対応するために紙の媒体を存続 させるのではなく、パソコンやスマホの講習会、あるいはそ ういったインフラの整備をすべきではないのでしょうか？</p>	<p>沼津市は現在、1月1日号を除き月2回、年間23回の広報ぬまづを発行しています。 広報紙を始め、市からの配布物につきましては、自治会役員の皆様の多大なるご協力をいた だき、市内各戸にお届けできているものであり、重ねて御礼を申し上げます。</p> <p>今年度実施した「市民意識調査」において、広報ぬまづの発行回数についてお尋ねしたところ、「月 1回でよい」とする割合が44.1%と一番多い回答でありました。しかし、「現在の月2回が妥当」とする声 も40.4%と同程度あり、10代と60代以上で現状の発行回数の維持を希望する割合が高いという結果と なりました。また、市政情報の入手方法についてお尋ねしたところ、「広報ぬまづ」が65.3%と最も多く、 どの世代においても広報ぬまづが市政情報を得る重要な媒体となっています。</p> <p>現状の月2回から広報紙の発行回数を削減することによって、印刷代、配送費等の発行経費が削 減されること、そして役員の皆様の負担が軽減されることがメリットとして考えられます。一方で、広報 紙は高齢者の方や電子情報の取扱いに不慣れな方にとっても必要不可欠な広報ツールであり、市 民の皆様最新の情報を届けるという市民サービスの観点から、現時点では月2回の発行が適切で あると考えておりますので、ご理解いただければと存じます。</p> <p>現在でも、広報紙は市ホームページに掲載しているほか、アプリや電子書籍ポータルサイトを利用 してスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけるよう対応し、多様な手法にて多くの皆様に情報 が届くよう努めているところでございます。</p> <p>今後におきましては、社会情勢やライフスタイルの変化、市民の皆様のご意見などを踏まえ、時代 に即して有益かつ効果的な広報紙発行について検討してまいりたいと考えております。</p>	広報課

令和5年11月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対 応	担当課
11月17日	12月1日	<p>沼津市広報について いつも業務、ご苦労様です。 ところで、広報ですが月2回配布されてますが、月1回の自治体も多いのではないのでしょうか？ 全世帯に配布、市役所や一部コンビニにも設置、それだけでもかなりの数になるのでは、さらにまとめて配送するのも経費が掛かるはず。 月1回にすれば経費削減になると思います。 駐車場や筒でもめるよりこちらを検討した方がいいと思いますが、いかがでしょうか？</p>	<p>沼津市は現在、1月1日号を除き月2回、年間23回の広報ぬまづを発行しています。広報紙の発行回数については、ご指摘のとおり、県内でも月1回とする市町もございます。</p> <p>現状の月2回から広報紙の発行回数を削減することにより、印刷代、配送費等の発行経費が削減されることがメリットとして考えられます。一方で、市民の皆さまにタイムリーな情報を届けにくくなるデメリットもあります。</p> <p>今年度を実施した「市民意識調査」においては、広報ぬまづの発行回数についてお尋ねしたところ、「月1回でよい」とする割合が44.1%と一番多くありました。しかし、「現在の月2回が妥当」とする声も40.4%と同程度あり、10代と60代以上で現状の発行回数の維持を希望する割合が高いという結果となりました。</p> <p>また、市政情報の入手方法についてお尋ねしたところ、「広報ぬまづ」が65.3%と最も多く、どの世代においても広報ぬまづが市政情報を得る重要な媒体となっています。</p> <p>さらに広報紙は高齢者の方や電子情報の取扱いに不慣れな方にとっても必要不可欠な広報ツールであり、市民の皆様に最新の情報を届けるという市民サービスの観点から、現時点では月2回の発行が適切であると考えておりますので、ご理解いただければと存じます。</p> <p>今後におきましては、社会情勢やライフスタイルの変化、市民の皆様のご意見などを踏まえ、時代に即して有益かつ効果的な広報紙発行について検討してまいりたいと考えております。</p>	広報課

令和5年5月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
5月8日	5月15日	<p>(応援です)広報 平素より市政対応でお世話になっております。 日頃、感じていること、広報についておおくりします。 まず初めに、とても感謝をしています。ありがとうございます。 わたし、沼津市のインスタ、Youtubeフォローしています。 昔に比べ、写真、動画なども豊富ですごく綺麗だとおもいます。 「広報ぬまづ」の写真や記事も綺麗で読みやすく、最近の市、行政の状況などもわかりやすく記載いただくような工夫をされていることとお察しします。 市民の意見の中には旧来の価値観からか反対意見もあるかと思いますが、私はいまの広報の雰囲気などは賛成です。少子高齢化の中、いかに魅力的な市であるか、はとても重要なこととおもいます。今後、駅の高架も進み、住みやすい、住みたい、訪問したい、と思ってもらえる市でありたい、若い世代にとっても魅力的な市であってほしい、とおもいます。 魅力を伝え、市よりも外の方にも訴求する、そんな広報であってほしいとおもっていますが、いまの写真、動画にはそういう想いをもって対応いただけているのだろう、とおもっています。 行政は10年20年先を見て対応が必要な側面があるとおもいます。若い世代をみて対応する、そんな広報であってほしい、とおもいます。 今後も素敵な沼津を発信しつづけてほしい、と感謝を込めてメッセージお送りします。</p>	<p>このたびは、当市の広報活動につきまして、大変励みになるお褒めの言葉をいただき誠にありがとうございます。 当市では、市民の皆様にご覧いただき、再発見していただくよう市公式ホームページ内に設置している「フォト&ムービーライブラリー」においてフリーで閲覧・利用いただける、当市の魅力を表現する映像及び画像を多数掲載したり、新たな視点からのプロモーションの推進のためドローンを活用した空撮による映像・画像コンテンツを充実させたり、また、広報ぬまづでは掲載する写真やレイアウトを工夫するなど、当市の魅力や必要な情報を分かりやすく発信することに努めております。 今回、このようなお褒めの言葉をいただきましたことは、市の魅力や情報を発信していく上で、大変励みとなります。今後も、市内外の皆様にも当市の魅力をより感じていただけるよう、積極的な情報発信に努めてまいります。</p>	広報課

令和4年8月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
8月22日	8月30日	<p>広報ぬまづのクオリティ ここ最近の、広報沼津の内容やデザインの劣化が著しいと感じられます。コロナ禍で、取材に出かけられないのでしょうか？これまで何度か拝見した写真の使いまわしが多くなっているようです。また、工夫のない配置、表記の揺れなども散見されるようになり、非常に残念です。 [広報沼津は年配の人しか見ない][ホームページやSNSなどに力を入れる]などのお考えがあるかもしれませんが、沼津市の全世帯に配布されるものですので、まだまだ訴求力があると思います。むしろ、訴求力を弱めているのは、広報ぬまづそのものの質なのではないでしょうか。 どこかのタイミングで印刷会社がかわったり、つくる人が入れ替わったりするのでしょうか。他にも、様々な事情がありそうですが、読む人が楽しくなるような、みんなが納めた税を無駄にしないような広報誌の作成を期待しています。</p>	<p>「広報ぬまづ」は、幅広いすべての沼津市民に市政情報や各種イベント情報などをお届けすることを目的としており、各世帯に配られる「広報ぬまづ」を市民の皆さまに手に取って読んでいただき、そして、市の事業や各種イベントに興味を持っていただきたいという強い想いで編集に取り組んでおります。</p> <p>そのため、掲載内容については、市政情報等に加え、目を引く写真やデザイン、取材をした方の生の声などを取り入れることにより、「広報ぬまづ」をより身近に感じていただけるよう心掛けております。また、市民で構成される「市民パートナー会議」から、「広報ぬまづ」に対するご意見を伺うほか、市民意識調査の結果なども参考に作成しております。</p> <p>ご指摘にありました、写真の使用についてですが、ご存じのとおりコロナ禍で行事開催が2・3年ぶりのものも多数ありますので、その場合には過去の写真を使用することもあります。また、ホームページ上のフォト&ムービーライブラリーに掲載している写真についてはPRのため、積極的に使用しております。今後も目的に応じて、適切な写真の使用を心掛けて参ります。</p> <p>また、ご質問にありました「広報ぬまづ」作成については、デザインやレイアウトなどを含めて職員が担当しているため、人事異動による入替もあります研修を受講するなどクオリティを確保するよう努めております。</p> <p>市民の皆さまからは、写真やデザインについて好感が持てるなど多くのご意見もいただいておりますが、今回いただいたご意見も参考に、より多くの市民の皆さまに楽しんでご愛読いただくとともに、市の事業に興味や関心を持っていただけるよう「広報ぬまづの」作成に取り組んでまいります。今後とも、ご意見やアドバイス等ございましたら、お気軽に広報課までご連絡ください。</p>	広報課

令和4年5月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
5月26日	6月9日	<p>広報ぬまづの発行回数について</p> <p>現在、広報沼津は、2回／月発行されていますが、4回／年にするとか、もう少し少なくとも市からのメッセージは届くのではと思っております。理由は、連絡事項としては、重複することが多い。</p> <p>全市で発行数を減らすことは、資源、廃棄の観点からも有効。</p> <p>配布担当する、隣組長の負担軽減。等の観点です。</p> <p>ご検討の程、お願い申し上げます。</p>	<p>広報紙の発行回数の削減につきましては、ご指摘のとおり、自治会の皆様の配付にかかる手間が減り、発行経費が減少することなどが、そのメリットとして考えられます。</p> <p>一方で、発行回数を削減することにより、新しい情報を迅速に届けられないことや、現在必要とされている情報と同レベルの内容を掲載した場合、1回のページ数が増え、配付作業の負担がより大きくなることなどのデメリットがあります。</p> <p>また、連絡事項が重複することが多いとのご指摘ですが、広報ぬまづは、同一の内容を掲載する場合には3カ月以上間隔をあけること、自治会の組回覧でチラシ等を配布する場合には広報紙には掲載しないことなど、情報が重複しないよう努めています。</p> <p>このような中、広報紙は、高齢者の方や特にSNS等に不慣れな方にとって必要不可欠であるとともに、市民の皆様に最新の情報を届けるという市民サービスの観点から、現時点では月2回の発行が適切であると考えているところです。</p> <p>今後も、月2回の発行を継続しつつ、ホームページや専用アプリなどの電子媒体も活用し、市民の皆様に幅広く情報が行き届くよう心掛けてまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。</p>	広報課

令和4年4月分「市民の声」

受付日	完了日	件名・内容	対応	担当課
4月18日	4月22日	<p>市民カレンダーに添付されている「便利シール」追加要望 市民カレンダーの「便利シール」は、ごみの日、誕生日や学校行事など、カレンダーに貼ってとても役立っています。 自分(60代男性)の家の近所に娘夫婦がおり、5歳と2歳の孫がいます。幼稚園の行事(遠足、運動会など)も「便利シール」を活用していますが、「便利シール」の学校編は小学校を主眼に作られている為、「入園式」、「卒園式」といった幼稚園ならではのシールがありません。 そこで、提案ですが、沼津市は若者移住など人口増加や若者が子育てし易い政策を推進していることから、「入園式」「卒園式」など幼稚園行事のシールも追加していただければありがたいです。 全ての世代に対応して、現在の「便利シール」になっていると思いますが、ご検討をお願いいたします。</p>	<p>この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 また、市民カレンダーもご活用いただいているとのことで、重ねてお礼申し上げます。</p> <p>市民カレンダーの便利シールは生活に役立てていただけるよう、1年間の代表的な行事やごみの収集日などの項目を選んでいます。この項目は、時代の流れや市の施策などにあわせ、変えていく必要があるものと考えています。 このため、いただきましたご意見も踏まえ、市民ニーズに対応した項目の選定に努め、より使いやすい市民カレンダーを制作してまいります。</p> <p>今後とも、沼津市広報行政にご理解ご協力いただきます様、よろしくお願いいたします。</p>	広報課